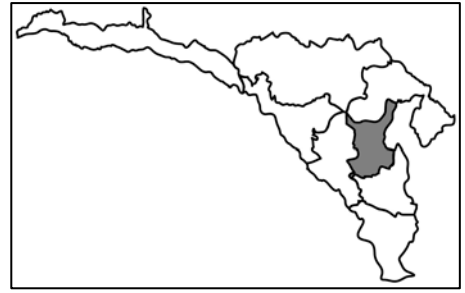


～玉川学園地域～

◇町目構成◇

玉川学園、南大谷、東玉川学園、本町田の一部
金井町の一部



玉川学園地域は、町田市の中ほどに位置し、かつての本町田地域を含み、玉川学園前駅を中心とする地域です。地形的にはほとんどが丘陵地の中にあり、起伏豊かな地形の中に住宅地が見られます。恩田川の周辺や南側は低地となっています。

昭和初期に小田急線の開通と共に開発された玉川学園前駅周辺は、風格のある“文教のまち”が形成されています。また、恩田川沿いの南大谷付近には、農地や斜面林などが残り、うるおいとゆとりを感じさせる風景が見られます。

①景観づくりのテーマ

1) まちの成り立ちを尊重した風格のあるまち並みづくり

昭和初期の小田急線の開通後、文教のまちとして形成されてきたまちの成り立ちを尊重し、地域の歴史や文化を感じさせるまち並みや街路樹などを継承し、さらに魅力を高めていきます。また恩田川沿いや南大谷付近では、水辺と周辺の豊かな緑を生かしたうるおいとゆとりのあるまち並みづくりを進めます。

2) 地域生活の中心となる学園都市にふさわしい駅前風景づくり

通勤、通学や買い物など、地域の日常生活の中心である玉川学園前駅周辺は、周辺の住宅地に配慮しながら、文教のまちにふさわしい風格のある景観づくりを進めます。

②景観づくりの作法

<地形>

◇高低差のある地形がつくる特徴的な眺め

玉川学園地域では、高低差のある地形がつくる様々な特徴的な景観が見られます。住宅の多くが丘陵地の斜面に建ち並んでおり、その周辺の尾根の道筋や階段、坂道など、見通しのきく場所の多くでは、斜面に折り重なるように建ち並ぶ住宅地の景観や、丘陵の緑の尾根の連なり、また、遠くに丹沢・大山の山々を望むことができます。

斜面に建つ住宅や、尾根の稜線がつくる緑の連なり、丹沢・大山への眺望など、玉川学園地域ならではの眺望に配慮し、その眺めを多くの人が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

見通しのきく坂道、階段／尾根沿いの道 などからの眺望

<農や緑>

◇地域のシンボルとなるまとまりのある緑

玉川学園地域には、3つの大学（玉川大学、昭和薬科大学、和光大学）のキャンパスがあります。キャンパスには大きな樹木が茂り、その姿は周辺からも見ることができます。また大学の周辺にも樹林があり、キャンパス内の緑とあわせて緑豊かな地域の象徴的な場所となってい

るとともに、かしの木山自然公園、ゆうき山公園など、各所にまとまりのある緑が保全されています。

まとまりのある緑は、地域のシンボルとして維持・保全します。また、まとまりのある緑と一体となった緑の景観拠点をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

各大学周辺／かしの木山自然公園／ゆうき山公園など



玉川大学

<まち並み>

◇風格のある文教のまち

昭和初期に小田急線の開通にあわせて開発された住宅地が、玉川学園前駅を中心に広がっています。約80年の年月をかけて培われてきたまち並みには、ゆとりのある敷地の戸建て住宅が多く、敷地内には緑が豊かに育ち風格のあるまち並みをつくり上げています。一帯は文教地区にも指定される「文教のまち」です。しかし近年では、住宅地内の建物が更新されつつあり、まち並みの変化や緑の減少なども見られます。また、施設の跡地や斜面緑地に大規模なマンション建設も行われています。



玉川学園前駅周辺の住宅地

玉川学園前駅周辺では、ゆとりのある敷地と、敷地内の樹木、街路樹の保全、元の地形を生かした土地利用など、風格のある学園のまち並みを継承し、地域の魅力を高めていきます。

◆配慮が求められる場所や景観の要素◆

玉川学園一帯の住宅地



◇農地や樹林が残り田園風景が見られるまち並み

南大谷付近など駅から少し離れた住宅地には、農地や樹林が残り、うるおいとゆとりを感じさせるまち並みが見られます。

南大谷などの住宅地の近くに農地や樹林が残る地域では、農地などの緑との連続性に配慮し、自然資源と調和したまち並みづくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

南大谷付近の農地や樹林



南大谷

◇大規模な中高層住宅団地

地域の北西にある藤の台団地は、中層の建物が整然と並び、特徴的な団地の景観をつくっています。

藤の台団地のような大規模な団地では、大きく育った樹木をできる限り残し、年月を経て培われた環境を継承します。

◆配慮すべき景観要素◆

藤の台団地一帯の樹木など

◇成熟した閑静な住宅地

金井町、東玉川学園一丁目などでは、一体的に開発整備された低層の住宅地が広がります。建築協約など、独自のまちづくりルールが定められている地域があり、良好なまち並み景観が維持されています。一部の住宅地では、傾斜地における宅地の造成等に伴って道路に面して高い擁壁ようへいがつけられることもあり、住宅地のまち並みづくりに対して景観形成上配慮が必要な場合も見られます。

金井町など、面的に整備された住宅地では、地域のルールを守り、地域の特性を生かし、周囲と調和した落ち着いたある良好な住宅地のまち並み景観を維持します。

◆配慮すべき景観要素◆

金井町、東玉川学園一丁目の住宅地など

<河川・水辺>

◇緑の多い恩田川沿いの景観

恩田川沿いには自転車歩行者専用道路が整備され、川の流れを楽しみながらジョギングやウォーキングを楽しむ人たちも多く見られます。河川の近くに丘陵の斜面林が迫り、河川沿いから周辺の緑を望むことができます。

恩田川沿いでは、並木や周囲の樹林地の眺望、開放的な空間を生かし、川沿いの眺望を楽しめる景観づくりを行います。

◆配慮が求められる場所や景観の要素◆

恩田川沿いや周辺

<沿道>

◇鶴川街道沿いの景観

地域の西側には、丘陵地を南北に貫くように鶴川街道が通っています。沿道には住宅に混じって店舗などが立地しています。

鶴川街道では、沿道の商業施設は周辺の住宅地の環境に十分配慮した景観づくりを行います。街道沿いの旧家など歴史のある街道の面影を維持・保全し、それらと調和した景観づくりを行います。

◆配慮が求められる場所や景観の要素◆

鶴川街道沿い

<にぎわい>

◇地域の日常生活の中心である玉川学園前駅周辺

玉川学園地域の日常生活の中心である玉川学園前駅周辺には、建物の大きさや色彩が様々な商業施設などが立地し、駐車場等も点在しています。駅周辺には桜並木や大きな樹木も多く、季節感を演出しています。

玉川学園前駅周辺では、小田急線の線路に沿った通りのにぎわいは保ちながらも、隣接する住宅地のまち並みに配慮し、風格のある文教のまちの中心にふさわしい景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

玉川学園前駅周辺／駅周辺の樹木



玉川学園前駅周辺



<歴史・文化>

◇寺社仏閣と緑が一体となった景観

南大谷にある南大谷天神社など、地域の歴史・文化を物語る景観が見られます。また、寺社の周辺には多くの緑があり、建物と周辺の緑が一体となった景観が見られます。

南大谷天神社など、地域の歴史・文化を物語る景観資源を保全し、それらの資源と周辺の緑豊かな環境と一体となった景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

南大谷天神社

